

第14回ライブラリーカフェ

2019年12月13日(金) 17:15-8:15

今回はロボティクス学科の田村 仁先生をお迎えし、「錯視とディープラーニング」と題してオープンスペースにて開催しました。

静止画が動いたり回転しているように見える「錯視」は、経験や感覚から脳が動きを予測し、誤作動を起こした結果起こる現象です。参加者は様々な錯視を体験し、田村先生から、AIに錯視を起こす仕組みについての解説を熱心に聞いていました。



田村先生の解説

貸出の更新回数が変わります。

2020年4月から、最大6回まで

これまで、LCセンターでは、図書をカウンターに持参した場合に限り、貸出期間の延長(更新)を無制限に認めていましたが、結果として長期間にわたる図書の独占が可能となっていました。他の利用者にも図書を広く利用してもらうことをために、2020年4月より、貸出の更新回数を最大6回までとします。更新回数を超えた場合は、他の利用者が手に取って読めるように、書架に配架します。ご協力をお願い致します。



自動貸出機での更新はできません。更新はカウンターでお願いします。

ライブラリーサポーターを募集しています。

LCセンターをより魅力的な場所にするため、「学生目線」でお手伝いして下さる方を募集します。本が好き、図書館が好き、大学生活を充実させたい方など、たくさんのご応募お待ちしております。

応募資格: 本学に在籍する学部生・院生(学科・学年不問) 無償ボランティアでの活動となります。

活動期間: 年度単位。月1回程度のミーティング イベントや作業中はその都度集まります。

活動内容: ライブラリーカフェ等イベントの企画、及び運営 LCセンターの活動への提言、選書ツアーへの参加

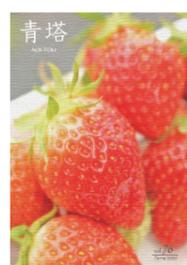
応募方法: LCセンターにて配布の応募用紙を2Fカウンターに提出。



選書ツアー



イベント企画・運営



青塔春号を発行しました。

春号は、大学生活や研究テーマを中心に、主に退任の先生方にご寄稿いただきました。LCセンター内で配布しています。ご自由にお持ちください。

リポジトリでも公開中です。

LCセンター2階特集展示

6/18(水)~8/1(土)「新生活」「知りたい!感染症」
新しいことを始める皆さんへのおすすめ本と、感染症の本の特集。

期間未定
「はじめてのレポート作成」「先生と先輩がすすめる本」
レポート作成に役立つ図書と250文字ブックレビューの紹介図書。

※期間等は、変更になる場合があります

開館カレンダー (変更になる場合があります。)

2020年 4月 April							5月 May							6月 June							7月 July							
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	
			1	2	3	4						1	2			1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30					26	27	28	29	30	31		
							31																					

通常開館日	9:00-20:30	休館日	日曜・祝祭日・本学休業日	短縮開館日	9:00-17:00	変更開館日	10:00-16:00
-------	------------	-----	--------------	-------	------------	-------	-------------

息抜きの散歩道 Vol.13

編集・発行/日本工業大学LCセンター 〒345-8501埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1
発行日:2020年4月1日 ホームページ <http://lib.nit.ac.jp>

LCセンターを使いこなす

入学時に配布した「LCセンター利用ガイド」には、基本的な利用法が掲載されています。今回は、そこから、ちょっとだけ踏み込んだ内容をお届けします。

●蔵書検索PC:OPAC)



本と出会うのなら、OPACを使いましょう。真ん中に「蔵書検索」と書かれた青いタブと検索窓があります。LCセンターの図書等はここから検索できます。検索した本のリンクを開くと「書誌情報」と「所蔵情報」が表示されます。

☆書誌情報=プロフィール

名前(書名)・身長(大きさ)・体重(ページ数)・血液型(分類)・得意な科目(件名)などが表示されています。書誌情報をよく見ると、件名や分類にリンクがありますので、似た傾向の人(図書)をさがしたいときはこちらからどうぞ。

☆所蔵情報=住所

じゃあ、どこに住んでるか、知りたい。LCセンターの本にも住所があります。たとえば【配置場所2階・請求記号520||A 24】なら、2階が「市

区町村」、520||A 24が「番地」です。請求記号は本の背表紙に貼られていて、書棚には請求記号の表示がありますので、表示に従って現物を探することができます。

●教科書忘れた…

授業で利用する図書もLCセンターにあります。2階で、青いシールがついている「指定図書」を探してください。所蔵は各授業ごとに1冊なので、必ず借りられるとは限りませんので注意してください。



●癒しがほしい……

☆雑誌ライブラリー

ファッション誌や旅行誌を眺めたり、新聞で情報を集めたり、ゆったりと過ごせます。新聞折込の特売チラシも配布していますので、日々のお買い物情報もゲットできます。

☆映像学習コーナー

話題の映画やお笑い、ドキュメントなど、DVD・ブルーレイを視聴できます。貸出はできませんが、大型モニターで友達と一緒に楽しんだり、個人ブースでひっそりと感動したり、それぞれのスタイルで映像を楽しむことができます。

●貸すのは図書だけじゃない!

印刷資料をホチキスしたい、コピーから必要な部分だけ切り抜きたい。そういう時のために、文房具を用意しています。カウンター横のデスクで使用できます。



また、椅子の座り心地がしっくりこないときのために、クッションを3種類用意しています。突然の雨のときには、傘も貸出しています。ぜひ、ご利用ください。

貸出ランキング

集計期間:2019年10月1日~2020年3月31日

- 『シーケンス制御が一番わかる:一連の動作を自動で順序通りに行う技術』武永行正/著 技術評論社/刊(7回)
- 『史上最強SPI&テストセンター超実戦問題集2019最新版』オフィス海/著 ナツメ社/刊(6回)
- 『あつという間に話せる韓国語:1文字からいねいに解説!文法もしっかりわかる!』石田美智代/著 永岡書店/刊(6回)

電車で、カフェで、ページをめくっているあの人は、
どんな本を読んでいるのでしょうか？

250文字ブックレビュー

先生のオススメ本から、
新たな扉、開いてみませんか。

『深夜特急』2-6』 沢木 耕太郎/著 新潮社/刊

915.6

Sa 94

2

配架場所：8階

前回紹介した第1巻の続きである第2巻から第6巻の5冊をまとめて紹介する。第1巻では主人公の沢木がデリー（インド）からロンドンまでを乗合いバスで旅することを決意したが、デリーに行く途中の香港とマカオで寄り道してなかなか先に進めなかった。第2巻以降ではマレー半島、シンガポール、インド、シルクロード、トルコ、地中海、南ヨーロッパ、そしてロンドンまでの旅が綴られている。沢木が旅をしたのは1970年代であり当時はネットなどはなく、いまに比べればとても不便であるがそれが旅を面白くしている。行く先々で、旅人同士で情報交換をしたり、現地の人との出会いがあり親切を受けながら旅を続けて、ようやく目的地のロンドンに到着する。本書を読んでヴァーチャルな旅を体験し、そして是非リアルな旅をしてほしいと思う。

高瀬 浩史（電気電子通信工学科）

『スコット・ロバートソンのHow to Draw オブジェクトに構造を与え、実現可能なモデルとして描く方法』 スコット・ロバートソン [ほか] /著 ボーンデジタル/刊

501.8

R 52

配架場所：5階

カッコいいメカや見たことのない建物が描けたら楽しいと思いませんか？この本は、架空のモノをどうやったら魅力的に、リアルに見せられるかを解説した教本です。この本を使って最後まで練習すれば、そこそこのデザインスケッチが描けるようになると思います。手書きのスケッチについて書かれた本ですが、CADや3D-CGにも応用ができる話が満載です。それに加え、事例の絵がどれも素晴らしく、掲載されている絵を眺めているだけでもワクワクします。ぜひ手に取って眺めて、できれば実際に描いてみてください。

細田 彰一（機械工学科）

『カモメに飛ぶことを教えた猫』 ルイス・セプルベダ /著 白水社/刊

963

Se 78

配架場所：8階

花粉症の季節、週末の外出が億劫な皆さんにお勧めします。劇団四季の公演パンフレットでこのタイトルを知ったのは最近ですが、日本での初版は1998年です。クロネコのゾルバがカモメのケンガーと交わした三つの約束を守るために、仲間のネコたちと人間の助けを借りながら奮闘する心温まるストーリーです。読んで行くにつれて、この物語の「奥深さ」に気づくでしょう。空気清浄機を抱きながら、ゾルバの知恵と勇気ある冒険を思い浮かべ、ハラハラしながら立ち止まらずに読んで下さい。明日から自分とは違う者に優しくなれるかもしれません。

大澤 正久（応用化学科）

『逆転の農業：技術・農地・人の三重苦を超える』 吉田 忠則/著 日本経済新聞出版社 /刊

611.7

Y 86

配架場所：7階

本書では、現代日本の農業の最新事例を紹介することで、「日本の食を救う」というテーマに言及している。●日本の農業が衰退しているのは全農中の責任？むしろ農協をいかに活用するか。●家族運営の農業から経営型の企業農業への発展。●スマート農業はまだ植物の潜在能力を極限まで引き出す生産の仕組みが実現できているわけではない！など、これからの農業発展のカギが盛り込まれている。古来からの農業は重労働で拘束時間が長く儲からないなどのイメージを払拭し、儲かるスマート農業が想像できる書籍である。

平栗 健史（電気電子通信工学科）

『ロボット それは人類の敵か、味方が 日本復活のカギを握る、ロボティクスのすべて』

中嶋 秀朗/著 ダイヤモンド社/刊

548.3

N 34

配架場所：7階

本書にはロボット研究者の目線から書かれたロボットの歴史、現状、将来までロボット全般についてまとめられている。タイトルは煽るような文言だが、ロボットと他の技術の特性の違いや、ロボットとAIの関係などが丁寧に説明されている。例えば、ロボットは現実世界で動作する機械であるがゆえに、AI的に加速度的な性能向上はできず、現実世界での実験を通してデータを集めることが必要となることなどが分かりやすく説明されている。特に、ロボットを創りたいと考えている人に知っておいて欲しいことが書かれている。

田村 仁（ロボティクス学科）

『ヒトの目、驚異の進化：視覚革命が文明を生んだ』 マーク・チャンギー /著 新潮社/刊

491.37

C 33

配架場所：5階

視覚に関連する研究に従事している人や興味を持っている人には専門教養としておすすめします。色空間の構成、奥行き知覚、錯視の説明、文字シンボルについての著者の仮説と研究成果が、しっかりとした根拠（学術論文）を伴って網羅されています。そしてそれらが進化論の立場から巧みに説明されていることが、この本の特徴であり、誰でも楽しんで読める点です。「霊長類の色覚の進化は、食べ物の認識のためというより肌の色の認識のため」など、目から鱗が落ちる理論が多く展開されます。

北久保 茂（情報メディア工学科）

『六号病棟・退屈な話 他五篇』 アントン・チーフホフ/著 岩波書店/刊

983

C 37

配架場所
2階文庫・新書

学問への意欲に燃える若い人に、「黒衣の僧」を勧めるのは間違いかもしれない。しかし「お前は選ばれた天才だ」と囁く幻と出会い、やがて精神的に破滅していく若者を描いたこの傑作は、あなたに強烈な印象を残すであろう。閉じこもり、錯乱をきたしながら絶命する姿には、共感を誘う何かがあると言わざるを得ない。チーフホフは登場人物の心の動きに光を当てる短編小説を多数書き、ロシア近代文学の歴史を変えた文豪である。一家破産で貧しい中、苦学して医者となったが、生活のために執筆を続けた。日本文学にも大きな影響を与えている。

西本 真一（建築学科）

『数学ガールの秘密ノート/微分を追いかけて』 結城 浩 /著 SBクリエイティブ/刊

410.4

Y 97

配架場所：4階

微分積分。高校で学ぶ数学の中では主役の1人に数えられますが、大学でも重要性は変わりません。数学だけでなく、物理学や化学、みなさんの学科の専門科目に至るまで、様々な場面に登場します。「微分積分を使わない日はない」と言っても、言い過ぎではないでしょう。そんな微分積分ですが、この本では微分法について、物理学の力学を題材にそのエッセンスを教えてください。「微分の計算は出来るけど、微分の意味ってなんだったけ？」「微分って、何のために必要なの？」と思っている、そこのあなた！に読んでほしい一冊です。

高岡 邦行（共通教育学群）